

あなたに届ける議会のホットニュース

No.41

平成28年4月27日発行

議会だより

URESHINO

うれしの

3月議会
ニュースライン

議会改革一歩前に!



▲エーイ!先生に引率され楽しそうな新一年生(吉田小学校)

政務活動費 どう使った	市 政を問う(16名が論戦)	私達 のお願い どうなった (議員と かたろう 会)	一般 会計 140億 7,200 万円を チェック
政務活動費	一般質問	要望報告	予算審議
P25	P13	P12	P6

発行=嬉野市議会 編集=議会広報編集特別委員会

〒849-1492 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769 TEL.0954(66)9127 FAX.0954(66)2887

00万円

前年比 5.9%増



▲新幹線駅前広場の完成予想図

当初予算の概況

ふるさと応援寄附金 前年比710%増

本年度当初予算総額は140億7200万円
で前年比5.9%増で
7億9000万円増の予
算が計上された。

歳入予算では、自主財
源の柱である市税収入
は前年度比0.1%増の
25億300万円を計上。

また好調なふるさと
応援寄附金は前年度比
710%増の驚くべき数
字、7億円の大幅増で計
上。

繰入金については、
前年度比37.5%増の
12億2100万円が基金
から繰り入れられて、自
主財源比率は、前年度比
8億6300万円増の
38%となった。

地方交付税は前年度

比5800万円減の
44億1000万円。

市債は12.4%減の
6億6800万円が計
上され、依存財源比率
は前年度比0.8%減の
87億3600万円となった。

歳出予算については、
「ひとり親子育て世帯応
援給付金事業」等の新規
事業を含め、民生費の支
出が35.6%と大きく占
めている。

県内初の犯罪被害者等の
生活支援を目的とした犯罪
被害者等見舞金支給事業
や耐震対策緊急促進事業
などの総務費が15.9%。

道路整備、急傾斜地崩
壊防止事業など土木費が
9.6%。

中山間地域対策や農村
地域減災事業など農林水
産業費が8.1%。

社会文化会館管理運営
費、また、新しく「実用
英語技能検定料補助」な
どの教育費が6.0%。

市債などの返済財源と
して公債費9.4%など
が主な歳出予算である。

自主財源も増えないな
か、厳しい財政運営であ
ることから議会としても
引き続き注視していか
なければいけない。

35.6%

民生費

500,287

15.9%

総務費

223,670

(単位：万円)

税収が増えないなか 大丈夫か 一般会計

140億7,200万円

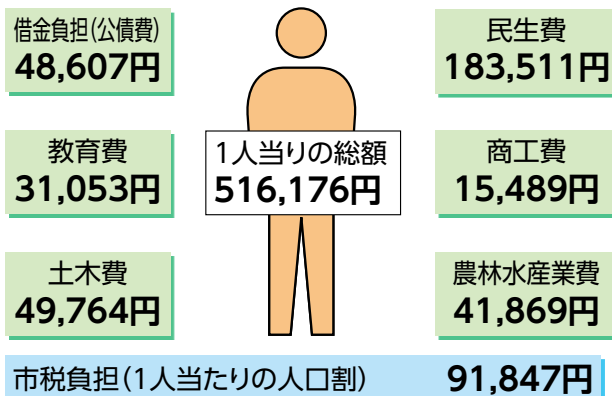
当初予算の概況

会計名	予算額	前年度比
一般会計	140億7200万円	5.9%増
特別会計	国民健康保険	45億9480万円 4.5%増
	後期高齢者医療	3億4685万円 5.5%増
	農業集落排水	3億4839万円 10.5%増
	公共下水道事業	3億4775万円 8.8%減
	浄化槽事業	9068万円 137.0%増
	第7土地区画整理事業	1億1299万円 35.2%減
	第8土地区画整理事業	1億767万円 15.4%減
	嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業	6億6773万円 28.6%減
水道事業	収益的収入	6億4682万円 0.4%減
	収益的支出	6億4211万円 1.6%減
	資本的収入	2億6937万円 58.3%増
	資本的支出	5億4848万円 39.8%増

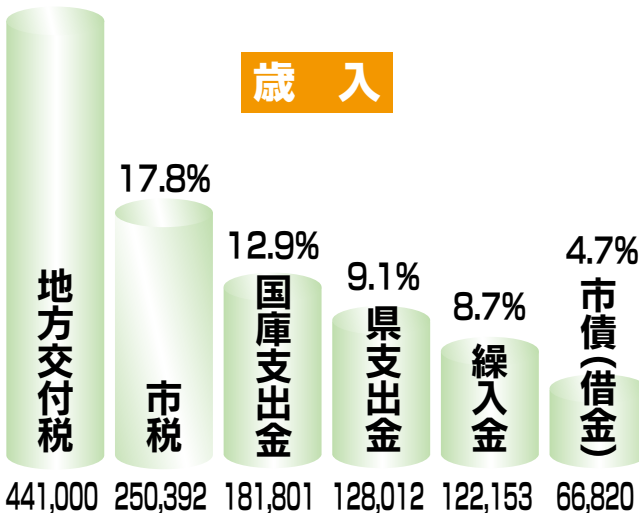
平成28年第1回定例会は、2月26日に招集され、3月18日まで22日間の日程で開催。
今議会では平成27年度補正予算、平成28年度一般会計予算、特別会計予算、条例の制定、条例の一部改正など40の議案と報告1件が上程された。
また、3月7日に一般会計補正予算、条例の改正1件が追加提案された。

3月18日意見書1件が提案され、慎重審議の結果、いずれの議案とも全会一致で可決した。
(賛否表はP11)
一般質問は議長を除く17名の議員中、16名が3日間にわたり登壇し、市長はじめ執行部に対し、鋭い指摘を活発におこなった。
(一般質問はP13)

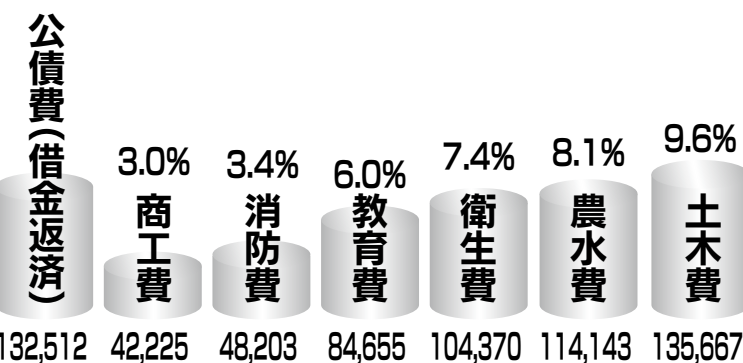
市民(27,262人)の一般会計状況



31.3%



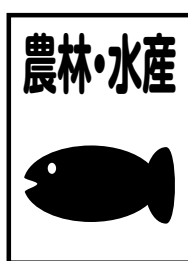
9.4%





▲茶ミットで頑張る高校生ボランティア

嬉野茶交流館造成に着手



うれしの茶交流館建設事業の設計や造成工事に3808万円。

茶資料館に加え、おいしいお茶の入れ方や茶染め体験を通して、市民をはじめ観光客へのうれしの茶消費拡大や販売促進につなげる。また、海外販路開拓に取り組む予算に800万円を計上。

カラスによる農作物被害及び生活被害を防止するため、鷹匠による駆除（追い払い）とパトロールを実施するカラス対策に83万円。

さが園芸農業者育成対策事業で所得向上に向けた収量・品質の向上や低コスト化、規模拡大など

収益性の高い園芸農業の確立に必要な施設・機械等の整備を推進のため、2371万円計上された。



▲着々と工事が進む駅前広場



新幹線駅前広場工事を推進

九州新幹線西九州ルートの開業に合わせ、嬉野の新たな玄関口を土地区画整理事業により推進するために3億1640万円。

橋りょう長寿化計画に基づき、予防保全的な補修及び計画的な架け替えをおこなうために1億250万円の予算を計上。

市道調査・改良で通行車両及び歩行者の安全を図るために、市道防災事業路線の測量や用地買収・補償を行うため1480万円。

急傾斜である市内4地区の法面を補修補強し、災害から人命や家を守るために2390万円が計上された。

観光・商工



商店街の空店舗を活用

嬉野市まち・ひと・しごと創生戦略に基づき、官民連携による観光産業を中心とした魅力と活力ある街づくりに1300万円。

商店街の空き店舗を有効に活用し、活性化を図るために200万円の予算を計上。
嬉野交流センターの運営支援や

販売促進、交流人口の増加及び観光客の誘致促進を図るための商店街活性化に300万円。

商工業者の安定化や指

導・育成、また、まちづくりの充実や後継者等を支援して商工業の活性化を図るため1370万円計上。

地域住民の交流促進と産業の振興や観光客の誘致促進のため、各種のまつりを開催し、市民の親睦と融和や観光客へのおもてなしのために389万円。

嬉野市PRの一助になっている九州フラ・フェスティバル開催に432万円の予算が計上された。



▲リニューアルした嬉野交流センター

保健・福祉

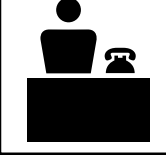


高齢者の生活支援

今年度は、新たにひとり親子育て世帯支援給付金事業として588万円計上された。市内在住の就学前の子どもがいるひとり親に対し、子育て世帯支援給付金として一月に一世帯あたり7000円を支給し、生活の安定と福祉の向上を図るものがある。

また、高齢者福祉としては生活支援対策整備事業に800万円が計上された。高齢者の生活支援や介護予防の体制整備をおこなうもので、住み慣れた地域で在宅生活を継続していく上で必要となる支援体制の充実・強化を目的とする。
お年寄りが、いつまでも安心して住んでいける嬉野市として積極的に取り組むべきであろう。

総務・企画



LED防犯灯を設置

各行政区からの要望を受け、防犯灯をLED化して

犯罪の抑止効果と交通事故防止に990万円を計上。

市内の空き家を調査し、状態・所有者・今後の意向などを把握してデータベース化し、適正な管理を所有者に促し、事故や犯罪・火災の未然防止に1130万円。

犯罪に巻き込まれたことで生活が一変し、精神的・経済的苦痛を受けた被害者が平穏な生活を取り戻す間、見舞金を支給する被害者援

助に50万円。

ふるさと応援寄附金を市民によるまちづくりや自然・環境の保全、また、次世代の育成や観光・交流に活用する予算として9億7718万円が計上された。

教育・文化



英語検定料を補助

題の指導を行い、学習習慣の定着を図るための子ども学校塾に1120万円の予算を計上。

授業の能率を上げ、辞書引き習慣をつけるため、市内の小学3年生全員に同一辞書の支給で59万円。

中学生の英語力及び学習意欲の向上を目的に、実用英語技能検定料の補助に151万円。

小学生全児童を対象に、放課後の時間を利用して宿

嬉野小学校校舎で軒天井からのモルタル片の落下が確認された。安心・安全のため屋根・ひさし改修に2028万円。

塩田津町並みの保存のため、伝統家屋の修理や修景事業の促進に2243万円の予算を計上。



▲整備が進む防犯灯

ひとり親子育て世帯に給付金

ひとり親子育て世帯 応援給付金に

588万円

問 この事業の目的は。
答 ひとり親世帯の生活の安定と福祉の向上を図りたい。

問 具体的な内容は。

答 母子家庭及び父子家庭の就学前の子ともがいる世帯（児童扶養手当受給世帯）に、一世帯当たり月額7000円支給。

問 対象世帯数は。

答 現時点で、70世帯を把握している。

空家の情報を データベース化に

1130万円

問 なぜ予算化されたのか。

答 昨年施行された空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく空家対策計画策定である。

問 どのような情報を集めるのか。

答 市内の空家等について、所有者・状態・今後の意向等を調査し、地図

情報システム上にデータベース化する。

問 データ活用方法は。

答 適正な管理に役立てる。

犯罪被害者等見舞金 支給事業に

50万円

問 事業の内容は。

答 犯罪被害者が死亡した際には、その遺族に遺族見舞金として30万円、傷害を受け1ヶ月以上の治療を行う場合には10万円の障害見舞金を支給する。

問 支給の基準は。

答 嬉野市に住所を置く者で、交通事故等によるものではなく、社会通念上支給することが適切であると認められる場合である。

嬉野総合（みゆき）公園 等指定管理：都市公園

3838万円

問 なぜ指定管理にするのか。

答 利用者へのサービス向上と管理費や経費の削減を図るためである。

問 どこ施設なのか。

答 みゆき公園、鷹ノ巣



▲指定管理になったみゆき公園（記念広場）



▲活性化が望まれる本通り商店街

観光産業活性化 事業に

1300万円

問 この事業の内容は。

答 今年一月にリニューアルオープンした交流センターを拠点に、情報一元化プラットフォームのシステム拡充や観光情報発信事業との連携を促進していく。また、空き店舗活用や出店者支援事業も継続して行う。

問 その効果は出てきて

いるか。

答 観光客や外国人の街歩きの姿も増えて、賑わいを感じられる。

生活支援体制 整備事業に

800万円

問 この事業の目的は。

答 多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実・強化を図る。

問 事業の内容は。

答 市内福祉法人等に生活支援コーディネーターを配置し、多様な取り組みのコーディネート機能を組み合わせて一体的な活動を推進する。



▲早くすすめたいバリアフリー（車いすでの乗降ができない階段）

UDおもてなし 体制整備事業に

605万円

問 委託先はどこか。
答 バリアフリーツアールセンターである。

問 事業の内容は。

答 てくてくラジオ（視覚障がい者や外国人まち歩きサポート機器購入とそのシステム整備、視覚・聴覚障がい者ガイド育成や組織化を目指す）。

問 街なかのUD化は。

答 UDマップ用のデータを作成し、UDの店の登録・表示などを行う。

新需要開拓事業に

500万円

問 この事業の目的は。

答 既存のお茶売場以外でうれしの茶の需要を開拓し、産地振興を図る。

問 事業の内容は。

答 前年度で少量パックやパッケージデザイン、サンプルパッケージ、市場調査・営業活動を行う

た。今年度新たに、東京にある大手結婚ブライダル会社に委託してうれしの茶の販路拡大につなげたい。

集約都市形成支援事業 （立地適正化計画）に

1000万円

問 この事業の目的は。

答 人口減少と高齢化時代を迎え、持続可能な生活環境を整えることを目的にした立地適正化計画を策定することである。

問 具体的な内容は。

答 都市機能区域や居住誘導区域設定に向けた基礎データの分析を行う。

問 周辺部の切り捨てにならないか。

答 医療環境や高齢化に合わせた地域ごとのまちづくりを考えている。

実用英語技能検定 （英検）料費補助金に

151万円

問 さまざまな検定があるが、どうして英検か。

答 受験の機会を拡大して、生徒の英語力を高めたい。

問 対象者は。

答 市内の中学一年生から三年生である。

問 英検は各級があり、何回でも受験できるので

はないか。

答 中学三年間で、一人につき一回分の受験料補助を考えている。

子ども学校塾事業に

1120万円

問 この事業は一年半経過したが、効果はどうか。

答 アンケート調査では保護者からも大変好評を頂いている。学習習慣をつける意味でいい結果が出ていると思う。

問 対象者はどれ位いるのか。

答 市内全体で42%程度だ。

問 少なくないか。

答 これ以上多くなると民業圧迫になるのではと考える。

その他の主な予算

項目	金額
消防施設整備	1524万円
航空写真撮影業務	600万円
定住促進奨励金	3000万円
結婚支援推進	283万円
地域コミュニティ推進	2751万円
スポーツ大会・合宿誘致活動事業	1034万円
地域包括支援センター事業	2556万円
地域子育て支援拠点事業	1168万円
放課後児童健全育成事業	6085万円
施設型給付金	8億7111万円
がん検診事業	2401万円
不妊・不育症治療費助成事業	230万円
うれしの茶ミット	150万円
浄化槽設置整備事業	394万円
スクールサポーター派遣事業	235万円

地方創生加速化交付金を加えて

2億3225万円を補正

一般会計総額155億6987万円に

平成27年度一般会計補正予算第8号は、各種事業の確定や見込みで減額補正がなされ、国の補正予算に伴う事業は翌年度に繰り越した。平成28年度予算成立後の3月28日、平成27年度一般会計補正予算第9号で地方創生加速化交付金やふるさと応援寄附金が追加された。

小・中学校体育館の天井改修工事に1億7467万円

問 この体育館の工事はどの体育館の工事なのか。

答 吉田・嬉野・五町田各小学校の工事に1億2694万円。嬉野中学校の工事に4773万円である。

問 工事の内容は。

答 吊り天井を撤去し、照明をLEDに取り替える。

問 これで全ての改修工事が完了するのか。

答 平成28年度中には全て終了する予定。

自治体情報セキュリティ強化対策に3000万円

問 この事業の目的は。

答 サイバー攻撃が急速に複雑・巧妙化し、情報



▲改修される体育館天井

セキュリティの強化が喫緊の課題であり、マイナンバー制度の安全性を高める必要がある。

問 この事業はいつまでにやるのか。

答 平成29年7月から情報提供ネットワークシステムの稼働が予定されているので、それに間に合うよう事業を進めていきたい。

年金生活者等支援臨時給付金給付事業に1億896万円

問 この事業の目的は。

答 消費税引き上げに際し、低所得の高齢者に与える負担を軽減するための臨時的な措置である。

問 対象者は。

答 市民税非課税者で28年度中に65歳以上になれる方である。

問 給付額は。

答 給付対象者1人につき3万円である。

問 給付時期は。

答 事務手続き上、8月以降を予定している。

3月補正予算後の状況

会計名	補正額	総額	
一般会計	2億3225万円増	155億6987万円	
特別会計	国民健康保険	1億6594万円増	49億2609万円
	後期高齢者医療	366万円減	3億2550万円
	公共下水道事業	513万円減	3億5488万円
	浄化槽事業	388万円減	7657万円
	嬉野温泉駅周辺整理事業	100万円減	7億5133万円
	水道事業	収益的収入	549万円減
収益的支出		1304万円減	6億3924万円
資本的収入		3578万円減	1億2894万円
資本的支出		6942万円減	3億1743万円

その他の主な補正予算

項目	金額
定住促進奨励金	500万円
障がい児施設措置費	306万円
介護予防支援業務	150万円
がん検診事業	130万円
高齢者はり・きゅう等助成事業	16万円
健康診査（妊婦健康診査事業）	60万円
定期予防接種事業	100万円
塵芥処理費（県西部広域環境組合）	438万円
担い手確保・経営強化支援事業	336万円

ふるさと応援

寄附金で

1787万円

問 事業の目的は。
答 市のまちづくりに寄付という形で応援していただき、寄附金を財源としてまちづくりに活用する。

問 事業の概要は。

答 当初事業費12億7千万円から6回の補正を経て事業費は15億3千万円となる。

問 寄附金の総額は。
答 今回の補正で10億円になる。

観光まちづくりと (地域ブランドづくり推進)事業に

4000万円

問 事業の内容は。

答 地域観光の確立に向けて組織法人化や専門家によるマネージメント、観光市場調査等を行う。

問 地域・観光等情報発

信業務とは。

答 これまでの取組みに加え、SNS等による発信運営を向上させる。

問 地域資源魅力アップ促進事業とは。

答 「稼ぐ力」を引き出す販路拡大事業などの各種業界への補助である。

忍者マーケティング・セールス推進事業に

500万円

問 事業の内容は。

答 観光客や観光消費額の増加を目標に、忍者協議会加盟自治体とともに国内外への観光PRを図る。

問 どういう事業を計画しているのか。

答 インターネットで大規模な市場調査を実施して、広域周遊ルートの旅行商品の開発や日本忍者協議会HPへの通信販売サイトを開設するなど「忍者」とコラボした商品・サービス開発促進を計画している。

地方創生加速 化交付金とは

交付金の目的は

・1億総活躍社会の実現に向けた緊急対応として希望を生み出す強い社会を実現するためや子育て支援、安心につながる社会保障の取組に貢献するための交付金である。

・地方版総合戦略に基づく自治体の取組についてレベラップを図る。

・KPI(評価指数)とPDC Aサイクルを組み込んだ自主的・主体的な取組を支援する。

交付金の支援対象は

「しごと創生」「ひとの流れ」「働き方改革」「まちづくり」など各自自治体の事業を支援する。

交付金の効果は

各自自治体が地方版総合戦略の取組の先駆性を高め、レベラップの加速化を図り、地方における安定した雇用創出や地方への新しいひとの流れ、まちの活性化など「目に見える地方創生」の実現に寄与する。

老人福祉センターに

湯けむり広場から配湯

732万円

問 なぜこのような事態になったのか。

答 老人福祉センターの温泉は民間の旅館の源泉を有償で利用していた。

今回、市営の湯けむり広場の源泉からお湯を配湯することにした。

問 老人福祉センター利用者のお風呂は現在どうなっているのか。

答 車でシールドの湯まで送り、そちらを利用してもらうっている。

問 どのような工事計画なのか。

答 湯けむり広場から、市道沿いの歩道に配湯管を布設する工事です。800万円を計上している。

問 工事はいつごろまでかかるのか。

答 早急に工事に取り掛かり、6月頃にはお風呂を利用できるようにしたい。



▲賑わった第一回忍者サミット



▲配湯予定の湯けむり広場

空き家条例を改正

国の空き家対策の推進に関する特定措置法が制定されたのを受け、嬉野市も空き家の適正管理に関する条例の一部の改正をすることになった。

これまで適正な管理が行われていない空き家が周辺の生活環境を害し、市民の生命や身体及び財産に深刻な影響を及ぼす空き家などを特定空家と改め、所有者に対し指導や勧告などができる。また、空家対策協議会の設置もできる条例改正となった。



▲都市公園となる嬉野保育所跡地

保育所跡地を公園に

今回、嬉野保育所跡地が、都市公園として利用できるようになった。

これまで露出していた配管などがあったため危険を及ぼす恐れがあり公園化ができなかったが、露出していたものを埋設し安全性を確保したため都市公園とし、使用できるようにになった。

犯罪被害者に

支援

嬉野市では、犯罪被害者等基本条例にのっとり、市民の犯罪被害者らの支援のために佐賀県で初めて、この条例を定めた。

条例の趣旨としては、犯罪被害者らが犯罪に巻き込まれたことにより生活が一変し、精神的・経済的苦痛を余儀なくされた方を行政として支援を行い、見舞金を支給して被害の回復及び軽減に資することを目的としている。

リバティ・アリーナ 使用料を改正

嬉野市体育館施設条例を改正し、使用料などの見直しを行い、これまで以上にリバティ・アリーナの施設を幅広く利用しやすいようにした。利用についての問合せは、文化スポーツ振興課やリバティへ。

その他の制定・改正をした主な条例

制定

- ・行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
- ・嬉野市行政不服審査関係手数料条例
- ・市道路線の認定
- ・嬉野市と佐賀県との間の行政不服審査会の事務の委託に関する協

改正

- ・嬉野市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部
- ・嬉野市人事行政の運営の状況の公表に関する条例の一部
- ・嬉野市ふるさと応援寄付金基金条例の一部
- ・嬉野市担い手農地集積高度化促進事業分担金徴収条例の一部
- ・嬉野市水道条例の一部
- ・市道路線の廃止

議会活性化 特別委員会

タブレット導入を調査

三重県鳥羽市議会は、議会改革度ランキングでは上位に位置し、ICTの活用においても早くから導入されている。そこで今回、タブレット端末機活用状況について視察、調査を行った。

委員会の意見

ICTを活用することにより、議員の利便性が向上することは明白であるが、ICT活用による議会事務局の負担軽減やペーパーレスにつながるという部分では、まだ精査の必要がある。また、タブレット導入に伴うペーパーレスによる経費削減については、セキュリティの問題からホームページに掲載できる程度

の内容までしか資料提出できないので、大幅な経費削減にはつながらないことも考えられる。

嬉野市議会のように資料請求が多い議会では執行部と十分な協議を行う努力が必要である。

今後、タブレット導入に当たっては、市内のどこでも利用できるネット環境の整備が課題である。

導入に政務活動費を活用する場合、議会活性化並びに議会改革にどうつながるか市民に対する説明が必要と考えられる。



▲鳥羽市議会での視察風景

軽度外傷性脳損傷、脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める

陳情者
軽度外傷性脳損傷 仲間の会
代表 藤本久美子

県道大木庭・武雄線に係る歩道設置等について

陳情者
堤の上区代表
平野秀幸 他7人

宇宙船地球号を守るための陳情・地球社会建設決議について

陳情者
荒木 實

3件の陳情

陳情・請願の出し方

みなさんから議会に要望などを伝える方法として、文書による請願や陳情書の提出があります。
提出にあたっては次の事項に注意してください。

- 請願や陳情書には要旨と理由を簡単に、わかりやすく書いてください。
- 請願書は一人以上の紹介議員が必要で、紹介議員が付かないときは陳情書としてください。
- 道路等は簡単な地図(略図)をつけてください。
- 請願や陳情書のメセは定例会開会の6日前までです。

九州新幹線西九州ルート整備についての意見書

昨年12月フリーゲージトレインの技術開発の遅れが報告され、本年3月8日に国土交通省より武雄温泉駅で在来線特急と新幹線を乗り継ぐ「リレー方式」により、平成34年度に暫定的に開業させる案が佐賀・長崎両県に対して提案された。

嬉野市では、今回提案されたリレー方式による暫定的な開業では、その効果についての期待が持てないこと。また、平成34年度の全線開業を前提に進めている駅前周辺整備事業等においても大きな影響が予想され、不安や懸念の声が日増しに強まっている。

西九州ルート開業の整備に関し、下記の内容の実現を強く要望する。

- ① 開業時期を平成34年度から可能な限り前倒しすること。
- ② 出来るだけ速やかに「全線フル規格」での運行を決断すること。
- ③ フリーゲージトレインによる平成34年度全面運行に代わる開業によって生じる追加費用は、全額国で負担すること。

議案の賛否 どう判断

賛 否 表

○は賛成 ●は反対

議案番号	議案名	結果	表決数	番号																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
				生田健児	宮崎良平	川内聖二	増田朝子	森田明彦	辻浩二	山口忠孝	田中平一郎	山下芳郎	山口政人	芦塚典子	大島恒典	梶原睦也	田中政司	織田菊男	西村信夫	山口要	
議案第6号	嬉野市犯罪被害者等支援条例について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	嬉野市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例について	可決	16:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第16号	嬉野市ふるさと応援寄付金基金条例の一部を改正する条例について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	平成27年度嬉野市一般会計補正予算(第8号)	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	平成28年度嬉野市一般会計予算	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	平成28年度嬉野市国民健康保険特別会計予算	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	嬉野市企業等誘致条例について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	平成28年度嬉野市一般会計補正予算(第1号)	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第2号	九州新幹線西九州ルート整備についての意見書について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

聞きます 伝えます

私たちの願いどうなった

議員とかたろう会の要望にお答えします。

今回で12回目になる「議員とかたろう会」を平成27年11月24日から27日までの4日間で開催しました。

「議員とかたろう会」において市民の皆様より要望があった意見を議員間で集約し、執行部に対して申し入れを行いました。

その回答の一部を紹介します。

消防団員の実態調査と地区再編の検討を

答 若者が少なく、団員の確保に苦慮している。部だけでなく分団単位や支援団員での人員確保を行っている。

春日溪谷への降り口の歩道の安全確保を

答 市道春日線の安全確保は現地を確認し、危険箇所については防護策設置など検討します。

国道34号線の湯野田と不動山間の歩道の改良と見直しを

答 地元の意向などを確認し、地権者等の協力体制が整い次第、国道事務所へ要望を検討します。

行政嘱託員数の見直しを

答 行政嘱託員数の見直しは過去数回、市と行政嘱託員の代表者間で行政嘱託員再編成会議を行っています。また、行政区再編成をしないよう要望書を提出した地区もあり、削減にはつながっていません。

井手川内地区の川沿い整備や河川歩道設置を

答 遊歩道の整備については、シーボルトの湯から新幹線嬉野温泉駅周辺までの要望を佐賀県に行っているところです。

温泉湯豆腐の原料の大豆にバックアップを

答 塩田地区の大豆は温泉湯豆腐の原料であり、地産地消の好例であります。国の交付金等活用し、バックアップしたい。また、PRなど情報発信にも努めていきます。

新幹線開通の経済効果を求めるならフル規格を

答 今後も佐賀県と沿線自治体と協議し、検討します。

鹿島市や太良町との合併協議を

答 嬉野町と塩田町が合併し、10年が経ちました。今後さらに嬉野市民が発展するために嬉野市民が一体となつてしっかりとしたまちづくりを引き続き進めていきます。

農業の各種事業や交付金について一般従事者にもその内容が伝わるような説明会の開催を

答 周知方法について農業団体の各種会合等により周知していますが、さ

らにどのような手段を講じることができるか検討します。ただし、すべての農業関係者に関する案件ばかりでないのどの事業をどれだけの事業をどれだけの事業をどれだけの事業をどれだけの事業をどれだけの事業を



▲議員とかたろう会の会場風景

人権擁護委員として 大島氏・蓮把氏を同意

人権擁護委員の戸田安之氏、小笠原愛子氏の任期が平成28年6月30日に満了するのに伴い、新た

に大島としえ氏（塩田町大字五町田）、蓮把利幸氏（嬉野町大字吉田）を市長が推薦するため議会

に提案された。これに議会として全会一致で適任と認めた。



大島としえ氏
(五町田)

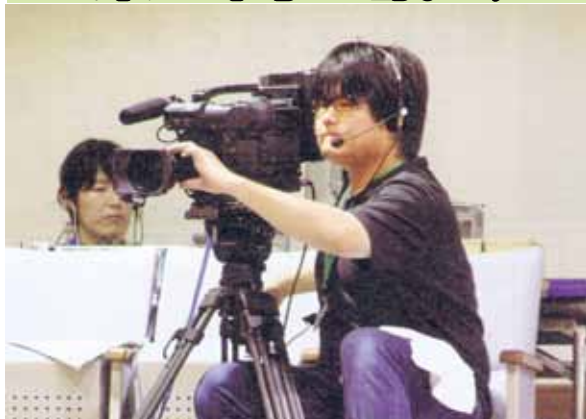


蓮把利幸氏
(吉田)

人権擁護委員とは

法務大臣から委嘱され、国民の基本的人権が侵犯されることがないように監視し、もしこれが侵犯された場合には、その救済のため、すみやかに適切な処置をとるとともに常に自由人権思想の普及高揚に努めることがその使命である。

お茶の間で議会を



・インターネット中継・録画放送
・有線テレビ放送

(放送については議会事務局にお尋ねください)

次ページは
← 一般質問

市政を 問う

3月議会

16議員が質問

山口 政人 議員
(P14)

山下 芳郎 議員
(P14)

森田 明彦 議員
(P15)

芦塚 典子 議員
(P16)

田中平一郎 議員
(P16)

山口 忠孝 議員
(P17)

川内 聖二 議員
(P18)

辻 浩一 議員
(P18)

大島 恒典 議員
(P19)

西村 信夫 議員
(P20)

宮崎 良平 議員
(P20)

増田 朝子 議員
(P21)

田中 政司 議員
(P22)

梶原 睦也 議員
(P22)

生田 健児 議員
(P23)

山口 要 議員
(P24)

水道の老朽化と更新の状況は

山口政人 議員



答 漏水箇所が多い本管を更新している

山口 給水人口の減少や老朽管の更新で、今後、財政状況は厳しくなると思うが、対策はあるか。

環境水道課長 国からの高料金対策費が5年後はなくなる予定だが、給水収益を増やし、支出を抑えて、より健全な企業会計として努力したい。

山口 嬉野町の水道を西部広域企業団と統合の話がでていますが、どういった協議がされているか。

市長 長期的な効率化と健全経営を図っていくため、協議の中で検討中である。

環境水道課長 協議会では平成28年度中に水道事業統合一案を取りまとめ、統合の目標を5年後にしたいというところである。

山口 災害時の応急給水方法と課題は。

環境水道課長 ペットボトルとポリタンクの給水だが、今後、大災害時の給水方法で給水車等を検討する必要がある。

山口 人命に関わる病



▲児童虐待を呼びかけるポスター

児童虐待の速やかな対応を

答 要保護児童対策地域協議会で対応する

山下芳郎 議員



山口 本市は児童相談所がないがどうするのか。子育て支援課長 重大な通告等は要保護児童対策地域協議会で協議する。

山口 問題は速やかな対応が必要であり、まずどこに行けばいいのか。

市長 通常は福祉課や子育て支援課で対応する。

山口 核家族化で心を閉ざした親が、同じ目線で身近に相談できる場所に地域コミュニティのつながりができないか。

市長 専門性もあり、法的に認められていない。

吉田公民館の指定管理

山口 吉田公民館の公民館業務や行政窓口業務、地域コミュニティ業務を統合してコミュニティが主体となって吉田地区へ業務委託ができないか。

市長 行政職員が従事団体として活動すれば可能性はある。

下吉田区の学校再編成

山口 少子化で下吉田区の小中学生を吉田小中

学校へ編入できないか。
市長 必要となれば、総合教育会議で幅広く意見を聞き協議していく。

吉田米のブランド化へ

山口 農産品のブランド化は地域に特化することと安全安心が不可欠。吉田盆地に菜の花を咲かせ循環型の米をブランド化することで高く販売できると思うがいかがか。

市長 吉田米としてPRして売れている。今以上に拡大できればと思う。

新幹線駅前構想は

山口 駅前構想に企業誘致ビルと、選挙公約で国際コンベンション施設があった。どう進めるのか。

市長 企業誘致ビルは財政等見ながら整備し、コンベンション施設は検討委員会で検討中。

その他

- ・源泉集中管理について
- ・新幹線のフル規格化へ
- ・医療センター跡地計画
- ・高齢者の表彰について



院や学校等での緊急時の対応はどうしているか。

環境水道課長 大きな施設等には受水槽があるので、一時的には対応できるが、今後検討したい。

山口 応急給水の拠点として耐震貯水槽を設置してはどうか。

市長 嬉野地区に浄水場を持っているので、大丈夫と判断している。



▲水道管老朽化の更新工事

山口 水道使用量が少ない世帯や高齢者宅の水道料金軽減の検討はできないか。また、消費税アップがあればどうするか。

市長 基本料金を再度下げることは、考えていない。

環境水道課長 消費税アップがあれば、その分引き上げる。

小規模企業振興基本法について認識を問う

森田明彦 議員

答 経済活性化や雇用確保で重要な存在と認識



森田 昭和38年に制定された中小企業基本法と、平成26年に成立した小規模企業振興基本法との大きな違いは何か。

市長 中小企業基本法の基本理念は成長発展が重視されたが、今回はそれに加え事業の持続的発展や小規模企業の着実な

事業運営を長期的に支援することと認識している。

森田 今回の小規模企業振興基本法の成立を受けて、この理念に基づき小規模企業振興条例が全国の自治体でも制定されている。嬉野市でもこの条例を制定する考えはなにか。

市長 県内ではあまり制定されていないが、全国的には進んでいるので、勉強して商工会あたりの意見も拝聴しながら研究をしていきたい。

どうする財政問題

森田 政府日銀によるマイナス金利政策の導入により、資産運営上で市購入の国債等に関して受ける影響と、今後どのような問題が生じるのか。

市長 資金運用面では厳しい状況となるが、現在保有する国債の利率は満期まで変わらず、また、現在の金利が下がる中で、反比例して既存の国債の価値が上がるので、保有国債の市場価格は高騰している。ただし、今後、



▲がんばって欲しい中小小売店

国債を新たに購入の場合にはマイナス要因に働くと考えられる。

森田 担当課の所感は。 **会計管理者** 今後の人口減等の影響で税収等が非常に厳しくなる中、資産の有効活用は必ず必要であり、あらゆる事態を想定して備えをしながら、今後も国債運用については拡大を図っていく。

民泊問題の影響は

森田 民泊問題が急激にクローズアップされて

いるが、嬉野温泉の旅館ホテルへの影響が心配される。現況と対策等についてはどうか。

市長 国家戦略特区に指定の区域が旅館業の許可を得ずに営業できるもので、現時点では直接的な影響は少ないと考える。 **うれの温泉観光課長** 法的にもグレーな部分があり、今後一定のルールや基準が必要と考える。

話 せる英語教育を

芦塚典子 議員

答 外国語時間の充実を図っている



芦塚 英語教育は、将来3年生から必修となるが、市の英語教育の現状は。

教育長 外国人 A L T 等を活用して小学校5・6年生の外国語時間の充実を図っている。2020年から始まる小3・4年生の外国語時間は前倒しで実施する。小1・2年生の外国語も充



▲外国人教師の授業風景

実を図る。

芦塚 「英語で授業をすることが基本に」と指導方針が変わるが、どのように対処されるか。

教育長 すでに県教育センターで研修等、英語力の向上を図っている。

芦塚 英語教育充実のために外国人 A L T を一人から3人に増やせないか。

市長 特に外国人ではとは思わない。

芦塚 海外からの観光客に「ウェルカム・トゥ・ウレシノシティ」と話せ

る英語教育をめざしてほしい。外国人 A L T を雇用する財源に「ふるさと寄附金」を活用できないか。

市長 子どもたちの健全育成のために活用する取り組みは可能である。

キャリア教育に力を

芦塚 キャリア教育の現状と方向性は。

教育長 生活科・社会科を中心に体験学習等を充実し職業や進路選択に役立つ授業を進めている。

芦塚 キャリア教育は、

中

山間地の作付は何かいいか

田中平一郎 議員

答 いろいろな条件に合った作物を選定



田中 中山間地の作付状況はどの様になっているか。

農林課長 現在、嬉野地区の中山間地域においては、お茶が主である。他にはキャベツ2ヘクタール、ミニキャロット30アール、ブロッコリー2・7ヘクタールなどが作付されている。

田中 今後、作物を推進するに当たっては、経費がかからず反収の上がるものを探すしてもらいたいと思うが、高齢化や後継者不足による放棄地が増えている。今後どのように推進していくのか。

農林課長 中山間地の

地域柄や土壌条件、気候条件なども違ってくる。そこにあつた作物を今後は選定をしていかなければならないと考えている。県の農業改良普及センターでは、今後5ヶ年間の運動方針と、実施方針や普及活動方針が計画されている。中山間地における複合経営について適した園芸品目の探索及び栽培技術の確立と言うことでテーマを取り上げ、積極的に運動されていく予定となっている。そうしたことを一緒にやって適した作物の選定をしていきたいと考えている。

度を充実させると掲げているが、この新規出店などについてのアドバイス制度は、誰がどのように受けられるのか。

市長 嬉野と塩田の商店街の活性化ということについては喫緊の課題である。私どもと商工会、そして経営コンサルタントが入った場合は、経営コンサルタント等のアドバイスをいただきながら努力をしている。

田中 商店街の店舗リニューアルはどの様にしていくのか。

うれしの温泉観光課長 社会資本整備総合交付金事業での空き店舗改修事業や商店街空き店舗等の再活性化事業などの補助金を使い、空き店舗改修の2つの空き店舗対策事業ということで実施している。

嬉野市商店街の活性化は

田中 温泉商店街や塩田津など積極的な出店誘致を行い、新規出店などについてのアドバイス制



自分の将来に夢と希望を持ち自分の生き方を切り開いて行く重要な教育で力を入れる必要があるが。

市長 産学官連携の地方創生の計画の中で力を入れていきたい。

菅塚 過去5年間の投資

資的経費は120億円であり、今後40年間の更新費用総額はいくらか。

財政課長 算定中の資料では461億円。

菅塚 461から1千億円ぐらいになるのでは。

財政課長 現在策定中であり、公共施設等総合管理計画で今後の投資費

用等がわかる。

菅塚 まちづくりの視点から、郷土の強靱化、公共施設の安全性、耐震

化の推進が必要だがどのように計画されるか。

副市長 公共施設等の管理計画は重要であるので庁内連携という形で進めたい。



▲どうかしたい中山間地の放棄地



リ バテイ駐車場に関して問題は発生していないか

山口忠孝 議員

答 今のところ特に問題は起きていない

山口 隣の商業施設の駐車場をイベント時に一時的に借用するような話し合いは、なされているか。

市長 駐車場が不足している状況ではないので申込みはしたことがない。

山口 あるイベントに来て商業施設の駐車場に車を止めたら注意されたそうだが。

市長 お互い混雑してその駐車場を使うより、私どもの駐車場を使って

もらうのが便利ではないかと思う。

山口 民と官とお互い共存共栄でやっていけないのか。

市長 私たちが困れば理解してもらえらると思うが、今のところ駐車場が足らなくて困ったという話は無い。

山口 駐車場は市の所有物で貸してあり、今後契約更改の時期にそのような話ができるのではないか。

市長 お互い誠意を持って、あそこは使用することになっている。

観光とまちづくりにどう取り組むのか

山口 嬉野地区の商店街の空き店舗に公的な施設（図書館や福祉関係）などは考えられないか。

うれしの温泉観光課長

商店街交流拠点づくり事業で交流センターをリニューアルし、ウェブショップや商店街マルシェを実施し、地元の方や観光客も楽しめる商店街をめざし、まちのにぎわいにつなげたいと考えている。

山口 地元の方々を巻き込まないと長続きしないのではないか。

うれしの温泉観光課長 商店街組合や関係機関と連携して、情報発信も含めいろんな事業をやりたい。

山口 塩田地区の伝建地区は保存だけではなく、観光の資源として生かされないか。

市長 NPO法人塩田津町並み保存会が九州大学と連携して様々な事業を計画されている。

山口 空き家や空き店舗の活用はどうなっているのか。

市長 商工会や関係団体と連携し、にぎわいのある町並みをめざしたい。



▲拡張したいリバテイ駐車場

危険な空き家の対策を

川内聖二 議員



答 緊急の課題とし
努力をしている

川内 嬉野市において、現在約450軒の空き家があり、4軒の倒壊の恐れのある危険物件の特定空家があるが、市としては、何か対策を行ったか。

市長 緊急の課題として努力をしている。

川内 危険な空き家の所有者の中には、処分しなくても何らかの理由で処分ができない方もいる

と思うので、相談窓口の設置は出来ないか。

総務課長 特別措置法の施行に伴って調査を行うが、現在、相談窓口の設置は考えていない。

川内 今後、処分をしたい方の意向を重視し、少しでも早く危険な空き家の撤去をすべきではないか。

市長 不動産関係の相談事業もあり、自発的に相談をしてもらって物件が動いていけばと思う。

塩田川の遊歩道どうする

川内 シーボルトの湯から新しい展望所までの遊歩道の整備要望は、その後どのような動きか。

市長 県は、本市が要望する遊歩道整備計画を検討の段階だと思う。

川内 以前、シーボルトの湯から鋸橋まで遊歩道の整備計画があったことを知っているか。

建設・新幹線課長 中井手橋までの計画は承知している。旧町時代に鋸橋まで整備を要望した経緯はある。



▲昇り降りが苦になる階段（吉田公民館）

吉田公民館のUD化はどうする

辻浩一 議員

答 再度協議したい



辻 活動の拠点である公民館の階段やトイレなどが、障害になつてはならない。

整備が必要ではないか。

文化・スポーツ振興課長 塩田公民館は車いすのスロープや階段の手すり、エレベーターがある。

嬉野公民館はUD化を考慮した建築を進めて行く。

辻 吉田公民館の設置について以前議論をした。構造的に厳しいので、部屋の配置で対応できないか検討をするとの答弁だったか、その後はどうなったのか。

市長 1階を広間にとのことだったが、事務所の利用を考えて実行できてない。

辻 図書館を2階に持っていけば事務所はそのままスペースは確保できるのではないか。

市長 子どもの利用もあるんで、十分な検討をしていない。提案も含めもう一回協議する。

辻 UDの観点から子供に不親切だが、高齢

者が階段を苦にするより、元気な子どもたちが2階を利用する方が良いのではないか。

市長 いろいろ検討をしてみたい。

駐車場について

辻 JA跡地を市有地として保有できないか。

市長 具体的に検討していない。JAの考え方もあるので今後の課題だと思う。

冬季の道路管理について

辻 市道については、融雪剤を地域に委託し、市役所にとりに来れば配布はできるようだが、県道については地域に委託できていない。

建設・新幹線課長 委託業者が融雪剤をストックしパトロールなどしている。

辻 県道については、地域に委託できないと理解してよいのか。

建設・新幹線課長 県に対して、地域へ委託できないか協議する。



川内 新幹線も開業するので、これを機に再度遊歩道整備計画を立てていくべきではないか。

市長 今後、新幹線駅周辺までの要望をするように考えている。

道路の維持管理の状況は

川内 夏場同時期に除草作業の要望がきたときは。

建設・新幹線課長 市道では、交通量が多い所や歩行者の通行が多い所から対応をしている。

川内 冬季に融雪剤を市道に準備してあるが、使用した後の補充はどのようにしているか。

建設・新幹線課長 順次パトロールをするときに追加で補充をしている。

川内 また、融雪剤が無いときは市役所に取りに来ていいのか。

建設・新幹線課長 危険な個所に使用する分は、配布できる。



▲火災や事故も心配な空き家

県 道下宿塩田線を急げ

大島恒典 議員

答 早期完了を要望していく



区間は早急に整備する必要があると思うが。

建設・新幹線課長 早期の完了をという事で引き続き要望をしていく。

新幹線問題について

大島 フリーゲージトレインの開発遅れから、暫定的に「リレー方式」での運行が取りざたされているが。

市長 以前から、新幹線については高速走行時の安全性や遠距離からの大量移動、また新幹線についての運動を始めた当初から大阪乗り入れを念頭に動いてきた。事情が変わろうともそこを目標として努力していく。

大島 県道下宿塩田線の今後の計画は。

市長 平成25年度に用地買収が完了したと聞いている。現在、本工事を順次進めているところである。

大島 着工から年月がかなり経過している。通勤・通学の安全性を高めるためにも、国道より今寺一嬉野中学校前までの

今後に向けて今一度「フル規格」の声をあげていくべきではないか。

市長 今は将来に向けた努力をしていくべきと感じている。今後いろいろな関係機関と協議を行

い私たちの意見を述べていく。

結婚支援について

大島 今後の結婚支援について、県との連携を含めて委員会より提言を行ったが。

市長 サポートセンターの市内設置については費用も相当かかるが、今後設置に向けて、県と協議し協力できるところから進めていく。

大島 行政がどこまで個人の問題である結婚に



▲なかなか先に進まない県道下宿塩田線

対して関与していくかの課題もあると思うが、実績は上がっていると考えるので、引き続き努力を要望する。

市民協働推進課長 県とも連携を強化していき、前向きに取り組んでいきたい。

単 独浄化槽の撤去補助金交付はどうする

西村信夫 議員

答 制度導入を検討する



西村 嬉野町の下水道は約50%が供用開始している。五町田谷所地区76%が接続されて塩田地区全体では農業集落排水事業接続率87・5%である。

未整備地区は平成27年度から市営合併浄化槽設置が進められている。単独浄化槽（し尿のみを処理する浄化槽）から合併



▲取付中の単独浄化槽

浄化槽に転換した場合には個人費用負担の軽減を図るため、撤去補助金が国から交付されるが本市も取組むべきではないか。

市長 国の助成制度があるが現時点で本制度を活用していない。制度の導入を検討する。

農業問題（産地パワーアップ事業）について

西村 本事業は、地域が一丸となって収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、総合的に支援する事業であるが、制度

の概要を具体的に伺う。

市長 県の計画では8月から要望のとりまとめがあり、地域農業再生協議会（嬉野市水田協議会）で産地パワーアップ計画を策定し本事業に取り組み予定となっている。

西村 パワーアップ事業の助成対象及び補助率はどうなっているのか。

市長 ハウスや集出荷

貯蔵施設、農作物処理加工施設等の施設整備及び果樹等の競争力のある品質の改植には事業費の2分1以内となっている。

主 要地方道大村嬉野線の改良を

宮崎良平 議員

答 引き続きお願いしていく



通省からの補助を受けての事業はできると思う。

宮崎 主要地方道の中でも越境路線であり、大野原演習場が隣接し、国防の上でも大変重要な路線であると思う。しかしながら、所々に車の離合が厳しい箇所や視界が悪く事故が多い箇所もあり、生活道路としての不便を感じることも否めない。

市長 平成17年4月に地元より早期完了の陳情がなされ、市も当時土木事務所及び佐賀県交通対策部長へ陳情を行った経緯がある。

宮崎 非常に重要な路線だと思っている。今後ともしっかりと要望し、合わせて地権者の方々にご理解を得られるよう引き続きお願いしていく。

有害鳥獣対策について

宮崎 イノシシ被害における今後取り組むべき

抜本的な対策はなにか。

市長 侵入防止や捕獲、棲み分けの3つの対策をバランスよく実施することが重要である。集落として取り組む対策への支援も必要だと考えている。

宮崎 複数の議員からウェブカメラとPC端末を利用し遠隔操作で大型の囲い罠を操作できる最新技術の罠の提案があったが、その後検討したのか。

産業建設部長 有害鳥獣対策における各関係団体等に相談した。

宮崎 捕獲だけでなくイノシシの生態の把握という面から見ても、良心的かつ革新的取り組みだと思うが、実際に捕獲される方々や担当課において視察等考えられないか。

産業建設部長 今後前向きに検討する。

宮崎 県道嬉野大村線については、これまでも要望等進めてこられた経緯があるが進捗状況を伺う。

市長 平成17年4月に地元より早期完了の陳情がなされ、市も当時土木事務所及び佐賀県交通対策部長へ陳情を行った経緯がある。

宮崎 非常に重要な路線だと思っている。今後ともしっかりと要望し、合わせて地権者の方々にご理解を得られるよう引き続きお願いしていく。

有害鳥獣対策について

宮崎 イノシシ被害に

通省からの補助を受けての事業はできると思う。

宮崎 主要地方道の中でも越境路線であり、大野原演習場が隣接し、国防の上でも大変重要な路線であると思う。しかしながら、所々に車の離合が厳しい箇所や視界が悪く事故が多い箇所もあり、生活道路としての不便を感じることも否めない。

市長 平成17年4月に地元より早期完了の陳情がなされ、市も当時土木事務所及び佐賀県交通対策部長へ陳情を行った経緯がある。

宮崎 非常に重要な路線だと思っている。今後ともしっかりと要望し、合わせて地権者の方々にご理解を得られるよう引き続きお願いしていく。

有害鳥獣対策について

宮崎 イノシシ被害に

抜本的な対策はなにか。

市長 侵入防止や捕獲、棲み分けの3つの対策をバランスよく実施することが重要である。集落として取り組む対策への支援も必要だと考えている。

宮崎 複数の議員からウェブカメラとPC端末を利用し遠隔操作で大型の囲い罠を操作できる最新技術の罠の提案があったが、その後検討したのか。

産業建設部長 有害鳥獣対策における各関係団体等に相談した。

宮崎 捕獲だけでなくイノシシの生態の把握という面から見ても、良心的かつ革新的取り組みだと思うが、実際に捕獲される方々や担当課において視察等考えられないか。

産業建設部長 今後前向きに検討する。

また、農業機械等のリース購入については本体価格の2分の1の補助である。

ふるさと納税について

西村 ふるさと納税の平成27年12月の寄付の状況を伺う。

企画政策課長 平成27年12月一ヶ月だけで5万件を超える寄付の申し込みがあり金額は7億円を超える寄付額であった。また、電話が鳴りっぱなしの状況であった。
西村 12月は各課の応援を受けて対応されている。企画政策課はふるさと

と納税の対応で本来の業務に支障はないか、ふるさと納税対策室を設置すべきではないか。
市長 職員の負担にならないよう検討しており、今年度の様子をしばらく見たい。



▲拡張したい県道大村嬉野線

行政区の見直しをすべきでは

増田朝子 議員

答 現行制度を維持する



増田 現在の行政区の数は。

総務課長 塩田地区54、嬉野地区34、合計88地区である。

増田 一番小さい行政区や大きい行政区の世帯数は。

総務課長 一番小さい行政区で9世帯、大きい行政区で576世帯である。

増田 昭和の大合併のあと、吉田地区では3つの行政区で統合されて

いる区があるが、お互い話し合いながら、うまく運営をされている。

また、時代の流れにおいて不動小学校の廃校や春日分校の廃校もあった。今後高齢化と人口減少で空き家なども増えていき、重要な役をできる人材も少なくなってくる。行政区の統合も、見直しをすべきではないか。

市長 過去2回、行政嘱託員の方々に検討してもらい、行財政改革と

して、行政嘱託員報酬の5%カット、定例会を2ヶ月に1回にした。

増田 行政区の見直しについては、行政嘱託員の方だけではなく、行政も含めての検討委員会の設置をしてはどうか。

市長 過去2回も行財政改革の委員会を立ち上げていた。そこで協議しているので、現行の制度を維持する結論を尊重していきたい。

市民参加について

増田 「ゆっつらくん体操」の普及活動はどのようになっているか。

市民協働推進課長 五町田小学校、轟小学校の運動会での取り組み、社会

福祉協議会のデイサービスや社会福祉団体でも取り組んでいる。

増田 自宅におられる方の為にもケーブルテレビで放映はできないか。

市民協働推進課長 4月から「うれしのホッとステーション」の中で月に2回、動画を放映する。

増田 市歌「ふるさとの空よ」を子どもから大人まで集まって大合唱のイベントをしてはどうか。
市長 機会があれば実施したい。

その他の質問
「子どもの貧困について」



▲行政嘱託員の定例会風景

嬉 野川河畔の桜並木の今後は

田中政司 議員

答 桜を楽しめる環境整備に努める



田中 温泉公園から轟の滝公園までの嬉野川河畔の桜並木は樹齢も相当進んでいるが、今後の対応をどのように考えているか。また、全体で何本の桜があるのか。

市長 平成25年度に樹勢診断をおこない、枯れ枝の除去や伐採などを施し枯れ木については新木への植え替えなど樹勢回

復事業に取り組んでいる。

産業建設部長 全体で298本である。

田中 枯れてから植え替えるとなれば、樹齢からいつて同時になる可能性がある。計画的な植え替えが必要ではないか。

市長 適宜状況を見ながら植え替えていければ、ローテーションとしてはできるのではと思っている。

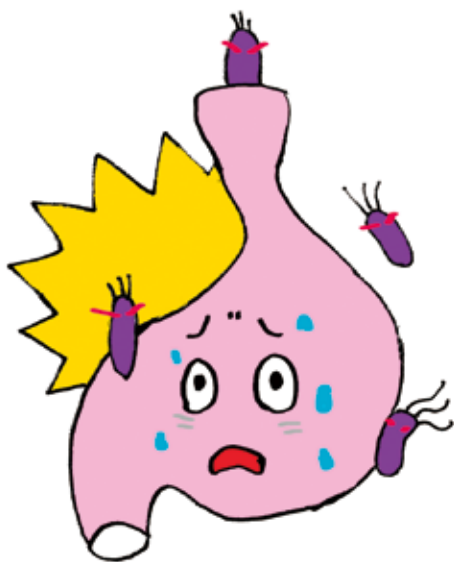
源泉の集中管理はモニタリングで完了か

田中 現在はモニタリングシステムの導入ということだが。

市長 モニタリングによりデータを提供し合うことは了解してもらっているが、今後は一括での集中管理についても、協力してもらおうよう話を立ち上げていきたい。

田中 合併特例債を使ったリーディング事業に位置付けられていると思うが。

市長 集中管理を特例債の期限である平成32年度までに間に合わせる



▲退治したいピロリ菌

ピ

ロリ菌検査・除菌の徹底を

梶原睦也 議員

答 必要性を広く周知していく



梶原 嬉野市のピロリ菌検査助成制度は30歳から49歳までが吐く息で検査する尿素呼吸検査(7000円助成)、18歳から39歳までが健康づくり健診のオプションとし

てABC健診(自己負担1000円)が行われているがその実績は。

市長 尿素呼吸検査は平成24年度から平成28年1月現在までで156名が、ABC健診では平成26年度と平成27年度で220名が受診されている。

梶原 ピロリ菌は胃がんな大きな原因であり、除菌による胃がん減少が進んできたことは証明されている。また、胃や十二指腸の炎症や潰瘍もピロリ菌によるところが大きい。さらなるピロリ菌除菌啓発を推進すべきではないか。

市長 ピロリ菌検査については受診者が低迷している実態がある。今後とも検査・除菌の必要性を広く周知していきたい。

梶原 現在40歳から行われている特定健診の中にABC健診助成も組み込めないか。そうすれば健診年齢の幅も広がるが。

市長 まずは広報等に努め受診者を増やしたい。年齢幅については今後検討する。

梶原 佐賀県では今年度より中学3年生のピロリ菌検査費用と除菌費用の助成を行うことになったが学校現場への説明はあったのか。

教育長 2月17日付で「未来に向けた胃がん対策推進事業」という文書が届いている。学校診断で提出された尿によりピロリ菌検査を行うとのことだ。今後公立中学校への説明会が行われる。

音声コードブック

梶原 音声コードBOOK D E E Xは情報量が豊富なため多言語にも対応しており今後あらゆる分野で活用できる。特に福祉・観光分野での活用を研究するべきでは。

市長 導入効果は期待できると思うので勉強する。

※ABC健診とは血液検査によりピロリ菌感染の有無と胃の萎縮状態を調べる胃がんリスク検査

のが良いが、間に合わなくとも市民や議会の理解をいただき、しっかりとした形で進める体制をつくっていききたい。

**市庁舎等の
売電企業の検討は**

田中 嬉野市が所有している庁舎や学校などの電気料金はどれくらいか。

財政課長 26年度決算で庁舎・小中学校・体育館・

公会堂など全部の総額が5400万円を少し超えるぐらいである。

田中 電力の自由化により様々な企業が売電事業に乗り出しており、電気料金の単価も違う。検討に値すると思うが。

市長 電力量を抑えることは難しい状況なので、新電力業者との契約も当然検討に値するものと考えられる。



▲満開のさくら並木

民泊について
生田健児 議員

答 取り組みは考えていない



生田 民泊マッチング

サイトは見た事があるか。あるならその感想は。

市長 見たこともある。現在の状況は非常に危険なものがあると思ってる。

生田 嬉野市のホームページにて民泊提供希望者向けに各種注意喚起が必要ではないか。

うれしの温泉観光課長

民泊については、ある程度一定のルールや基準が整った上での対応になるかと思う。

生田 ネットの普及により、いわゆる「炎上」

が重大な事態に発展することもあるようだが、観光課としては市内業者に対しての注意喚起や、嬉野温泉への評価、口コミサイト等においてネットパトロール的なことは行っているのか。

うれしの温泉観光課長

今のところ実施してない。

生田 市長はネット対応にどういう考えか。

市長 民間の方と一緒に嬉野のイメージを保つよう努力していきたい。

**コンパクトシティ化への
取り組みについて**

生田 現在ある施設の統廃合については。

市長 公共施設等総合管理計画を策定中である。

生田 市行政の合理化や効率化については。

主に2つのタイプがある「民泊」

空き室を活用できる！
オーナー！
空室を利用
安くして便利！

国際交流楽しいね！
民家に招く
でも様々な意見が…

古民家や町家の活用になるね
知らない人がうろうろうるさいよ
マンション住人
我々は基準を守っているのに…
ホテル経営者
火事や事故時の補償は大丈夫？

▲民泊を紹介するホームページ

市長 第二次行財政改革大綱に基づき行政全般にわたり点検と改革に取り組んでいる。

生田 人口がゼロや、またはほぼいなくなる集落がどれほどでてくると想定しているか。

市長 相当な集落が人口減少していくだろうと思ってる。

生田 嬉野庁舎と塩田庁舎の統合についての考えは変わっていないか。

市長 変わっていない。

生田 今後は中心部への集約を進めていくのか。

市長 機能的にはコンパクトシティ化を進めていく。

生田 人口がかなり減少していくおそれのある集落に対するフォローや配慮については。

市長 行政サービスは、できるだけ拡散し生活を支えていくのが良いと思う。

市議会の 30日間

平成28年

日付	曜	議会関連	内容
2月26日	金	本会議	開会、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、議案一括上程、委員長報告
		委員会	議案の詳細説明
2月27日	土	休会	
2月28日	日	休会	
2月29日	月	委員会	常任委員会
3月 1日	火	委員会	常任委員会
		委員会	常任委員会
2日	水	委員会	一般質問
3日	木	本会議	一般質問
4日	金	本会議	一般質問
5日	土	休会	
6日	日	休会	
7日	月	本会議	一般質問
8日	火	休会	
9日	水	本会議	議案質疑
10日	木	本会議	議案質疑
11日	金	本会議	議案質疑
12日	土	休会	
13日	日	休会	
14日	月	本会議	議案質疑
15日	火	本会議	議案質疑
16日	水	本会議	議案質疑
17日	木	休会	
18日	金	本会議	討論、採決、閉会
28日	月	本会議	臨時議会

議長交際費支出状況

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)
(単位:円)

項目	件数	支出金
香典	1	5,000
供花	2	21,600
御祝	8	70,000
会費	2	10,000
その他	12	33,576
計	25	140,176

- ・御祝 公的性格を有する団体への支出
- ・会費 上部団体並びに公的性格を有する団体との協議会費
- ・その他の内訳 行政視察手土産



▲移転する嬉野医療センター



医

療センター跡地どうする

答 検討委員会を設置した

山口 議員

山口 跡地活用については、どのような状況か。
企画政策課長 庁舎内に検討委員会を立ち上げ、課題の洗い出しと、今後のスケジュールについて確認を行った。

山口 今後については民間組織として移行していくべきではないか。
企画政策課長 平成28年度については専門家の招聘を考えている。

山口 岩手県紫波町の

オガール地区の事例も参考にしているか。
企画政策課長 国の補助金に頼らない公共事業というところで、今後、勉強して活用していきたい。

大学生対象のビジネスコンテスト
山口 地域経済の活性化と産学官連携を図る意味から、十日町市が実施しているビジネスコンテストについて、どう思うか。

企画政策課長 産学官連携事業としては、非常に有効な手段と考える。
山口 次年度といわず、今年度からでも実施する考えはないか。
市長 内容については承知しているので、ぜひ取り組むように努力する。

読書対策どう取り組む
山口 読書好きな子どもを育てるための手法として、北九州市は子ども読書プランを作って取り組んでいる。この取り組みについてどう考えるか。

うので検討してみたい。
山口 子供たちに読書を進めるリーダー役として子ども司書の取り組みが広がっている。どのように認識し、今後の取り組みの考え方はどうか。
教育長 図書館での活動等も合わせながら、検討する必要があると思う。2館のどちらかで行うのも可能かなと考える。

山口 参加者同士で本を紹介し合い、もっとも読みたい本を投票で決める「ビブリオバトル」について、その後の検討は。
教育長 これから現場で取り組み、国語教科で参考にしようと思うので、今後、学校現場に委ねる。

(単位：円)

政務活動費の実績

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
研究研修費	1,557,220	1,452,415	742,370	929,072
調査研究費	226,000	195,520	857,126	1,012,952
資料作成費	0	0	0	0
資料購入費	1,249,236	1,112,888	1,064,729	1,105,891
広報費	0	0	0	0
広聴費	0	0	0	0
人件費	0	0	0	0
事務所費	0	0	0	0
その他経費	165,002	157,713	163,064	137,544
機器リース	97,768	96,768	96,768	88,704
接続料	0	0	0	0
消耗品	68,234	60,945	66,296	48,840
合計	3,197,458	4,795,719	2,827,289	3,185,459
支給額	4,320,000	4,320,000	4,320,000	4,320,000
返還額	1,172,359	1,468,204	1,492,711	1,276,562

*詳細は市のホームページでも公開しています。

政務活動費とは

政務活動費は、地方自治法に基づき、嬉野市の条例で定められているものです。

その使途目的も厳しく基準が決められており、議員の調査研究その他活動に資するため必要な経費の一部として議員に支給されます。時々ニュースとして世間を騒がしているのは、政務活動費を誤って使用する議員がいるからです。嬉野市議会では、議会事務局でしっかりチェックを受けていますので、今のところ問題は生じていません。

嬉野市議会では、年間24万円(月2万円)が、4月と10月の2回に分けて振り込まれます。使われなかった政務活動費は返還しなければならず、領収書は当然ながら必ず貼付しなければなりません。

議員活動は、幅広い知識と新しい情報が必要とされます。そのためにも政務活動費を有効利用して、市民の皆さまの役に立ちたいと考えています。

議会構成が変わりました

平成28年第1回臨時議会が1月19日に開催され、新しい委員会構成が決定した。

常任委員会は2年の任期で改選され、各議員の希望をとるが、定数が決まっているので調整を行った。議会活性化特別委員会と広報編集特別委員会はメンバーがそのまま入れ替わった。



▲議会だより編集に取り組む委員会

産業建設常任委員会			文教福祉常任委員会			総務企画常任委員会		
委員長	副委員長		委員長	副委員長		委員長	副委員長	
大島恒典	山下芳郎	田口好秋	梶原睦也	山口信夫	山口要	山口忠孝	田中政司	芦塚典子
・建設関係	・農林関係	・環境衛生関係	・文化・スポーツ振興	・コミュニケーション関係	・文化財	・健康福祉関係	・学校教育	・総務関係
・環境衛生関係	・環境衛生関係	・環境衛生関係	・文化財	・文化財	・文化財	・学校教育	・文化財	・財政関係
・環境水道事業	・環境水道事業	・環境水道事業	・文化財	・文化財	・文化財	・学校教育	・文化財	・企業誘致関係
								・消費関係
								・社会教育
								・商工観光関係

議会活性化特別委員会				広報編集特別委員会			
委員長	副委員長			委員長	副委員長		
辻浩一	田中政司	山口政人	西村信夫	山口忠孝	山口要	織田菊男	芦塚典子
・議会活性化に向けて検討	・議会視察の受け入れ	・議会活性化に向けて検討	・議会視察の受け入れ	・議会だよりの編集発行	・議会視察の受け入れ	・議会だよりの編集発行	・議会視察の受け入れ

刻む 議会10年間のあゆみ

早いもので、合併して10年の月日が流れました。議会の10年間の活動を年表で振り返ります。



▲導入した賛否を表す議場モニター

年表

- 平成18年1月 塩田町と嬉野町が合併し、「嬉野市」が誕生
- 平成18年2月 第一回市議会議員選挙（議員定数22人）
- 平成18年7月 議会基本条例・政治倫理条例の施行
- 平成20年6月 議会基本条例を制定
- 平成21年11月 第一回議会報告会開催
- 平成22年1月 第二回市議会議員選挙（議員定数18人）
- 平成24年度 第二回議会改革度調査で全国第3位
- 平成24年9月 大型モニター導入など議場システムの運用開始
議場インターネット配信開始
- 平成26年1月 第三回市議会議員選挙（議員定数18人）
- 平成26年度 第三回議会改革度調査で全国9位
- 月刊誌「地方議会人」の議会広報で評価を受ける
月刊誌「月間ガバナンス」の議会改革度で評価を受ける
月刊誌「月間ガバナンス」の議会改革度で評価を受ける
- 平成27年12月 議員定数18名から16名へ
議員定数18名から16名へ



◀議場風景



中学生の声
感謝の心
嬉野市立大野原中学校
田中流星

僕は「全国大会出場」を目標に小学校三年生から七年間卓球を続けてきました。そして、中学三年生になった今年度、県中体連で優勝し、九州大会、そして念願の全国大会出場と長年の目標を果たすことができました。

全国大会に出場して初めて全国のレベルは高くまだまだ上があることを知りました。そして、もっともっと卓球が上手になりたいと思いました。もっと上を目指して、高校でも卓球を頑張りたいと思っています。

今まで卓球を通して、たくさんの人と出会い、たくさんのことを学びました。その中でも一番大切にしたいのは「感謝の心」です。

毎日熱心に指導をして下さった顧問の先生。試合の度に朝早くから送迎してくれた両親。見守って応援して下さいる地域の方々。たくさんの人に支えられて卓球を続けて来られたと改めて感じています。

僕は、さらにレベルの高い卓球を目指して県外の高校に進学しますが、今まで育てていただいた感謝の心を忘れずに勉強と卓球を頑張りたいと思います。そして、いつか大野原に恩返しをしたいと思っています。

議会広報編集特別委員会

委員長	山下芳郎
副委員長	山口忠孝
委員	山口要
	織田菊男
	芦塚典子
	森田明彦
	川内聖二
	生田健児

コラム

市政と同じく市議会も今年で10周年▼議会も合併当初の生みの苦しみを先輩議員より聞き、厳しい時代ながらも時代の変革に合わせ、未来の嬉野を夢見て市民目線にあった議会改革を留まることがなく進めていきたい▼議会だよりの広報編集委員の新メンバーが今回から2年間を担当。この議会だよりの橋を築いて、市民との懸け橋になれば、市政のさらなる発展につながるものと思う▼幕末維新の偉人である勝海舟の言葉に「政治家の秘訣は何もない。ただ誠心誠意の四文字ばかりだ」と。この言葉のようになこれからも愚直で一所懸命に……

(芳郎)